

ピンク・フロイドの狂気は  
何故5000万枚も売れたのか？

# PINK FLOYD (ピンク・フロイド)



- ・1965年、イギリスで結成
- ・プログレッシヴ・ロックバンド
- ・売上累計2億5000万枚以上

気怠く幻想的なロック  
＋  
社会的・哲学的な歌詞

- ・2014年解散

# THE DARKSIDE OF THE MOON (狂気)



1973年発表

哲学的な歌詞に加え、効果音が  
散りばめられ、立体的な音作り

コンセプトアルバムとなっており、  
主人公の誕生から苦悩、葛藤など  
を描き出している

# 疑問

何故このアルバムはこんなにも売れたのか？

# 疑問を抱いた理由

- ・聴くのが難しいプログレッシヴ・ロックというジャンルだったから。

(曲が長い、転調が多い、暗い、地味)

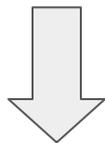
- ・普通のアルバムでも5000万枚の売り上げはありえないから。

# 仮説

当時の社会状況とサウンドが  
革新的だったから。

# 「狂気」の売り上げ

- ・全世界売上 5000万枚以上 (世界4位)
- ・ビルボードチャートに15年間にわたってランクイン (741週連続)
- ・カタログチャートには30年以上ランクイン (1,630週以上)

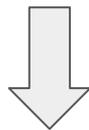


これらのことより、ロングセラーのギネス世界記録を打ち立てた。

- ・日本のオリコンチャートでも歌謡曲を抑えて堂々の1位。
- ・アメリカでの売り上げが特に凄まじい。

# 1970年代 当時のアメリカの社会背景

- ・ベトナム戦争やオイルショック等で若者が自由と平和を求めて立ち上がった。→大学生に支持される
- ・アメリカでは、コカインや大麻、ヘロインなどのドラッグが横行。



80年代まで続く。

- ・音楽は貴重な娯楽だった。(1枚アルバムを出す≒オリンピック開催)

# 「狂気」のアルバムとしての特徴

- ・経済困窮や戦争などの社会問題を取り上げる。
- ・当時としては音質の良さが最高峰
- ・従来のプログレよりもポップで聴きやすい。
- ・スローテンポな曲が多い。
- ・ジャケットが芸術的。
- ・音が左右を行き来する (オートパン)を使用するのは画期的だった。

# 考察

- ・スローテンポな曲、ジャケット、浮遊感のあるサウンド
    - ドラックでトリップするのに向いていた
    - レコードが擦り切れたら買いなおす
  - ・画期的で誰も聞いたことない音楽だった。
  - ・音質が良く、実験的なサウンド
    - レコードプレイヤーのサウンドテストや音響チェックに使用される。
- (現在でも)
- ・売り上げが売り上げを呼ぶ正の連鎖が起きた。

# ここまででの結論

ドラッグとの相性

+

社会問題を取り上げる話題性

+

画期的で、かつ聴きやすい曲

+

サウンドチェックに最適

||

5000万枚

# 参考文献

[https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/q1452589864?\\_yosp=44OU44Oz44Kv44OV44Ot44Kk44OJIOLguawlyDjgarjgZzlo7LjgozjgZ8%3D](https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1452589864?_yosp=44OU44Oz44Kv44OV44Ot44Kk44OJIOLguawlyDjgarjgZzlo7LjgozjgZ8%3D)

[https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/q12193147222?\\_yosp=44OU44Oz44Kv44OV44Ot44Kk44OJIOLguawlyDlo7Lkulo%3D](https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q12193147222?_yosp=44OU44Oz44Kv44OV44Ot44Kk44OJIOLguawlyDlo7Lkulo%3D)